

## 第30回保存フォーラム

# 収蔵資料の防災

—日頃の備え・災害対応・連携協力

保存フォーラムは、図書館における資料保存対策や技術について、実務者が情報交換、意見交換を行うことを目的として開催するものです。

日本では近年、自然災害が頻発し、各地の図書館や文書館等でもその被害を受けています。収蔵資料の救済に関して、日常からの備えや発災後の初期対応、地域内外・他機関との連携の枠組みや事例を知ることにより、各自の防災・減災の意識を高め、各機関において取り得る対応を考えます。

### <プログラム>

#### ○報告1「地域史料の防災対策—埼玉県内の取組を中心に—」

新井浩文氏（埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸主幹）

#### ○報告2「鳥取県における災害時の県諸機関及び自治体の連携」（仮題）

網浜聖子氏（鳥取県立図書館長）

#### ○報告3「史料ネットの活動と広域連携」（仮題）

加藤明恵氏（歴史資料ネットワーク事務局、神戸大学大学院人文学研究科特命助教）

#### ○報告4「文化財防災ネットワーク推進事業の概要と今後の展望」

岡田健氏（独立行政法人国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長）

#### ○報告5「国際図書館連盟（IFLA）における資料防災と海外事例」

佐藤従子（国立国会図書館収集書誌部司書監、IFLA/PAC アジア地域センター長）

#### ○質疑応答・意見交換

日 時：令和元年12月19日（木） 14：00～17：00（受付 13：30～）

会 場：国立国会図書館 東京本館 新館3階 大会議室  
（東京都千代田区永田町1-10-1）

定 員：80名（先着順） 参加費無料

申込方法：当館ホームページの参加申込みページからお申し込みください。

ホーム > イベント・展示会情報 > 第30回保存フォーラム

<https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/preservationforum30.html>